H23.12.1(木)

母国リトアニアを児童に紹介

中部大留学生、歴史や文化語る

八百津小

杉原千畝氏が縁、交流授業

児童たちにリトアニアの文化などを伝えるシンケビチューテさん＝八百津町八百津、八百津小学校

リトアニアの大学から中部大学（愛知県春日井市）に留学しているギンターレ・シンケビチューテさん（21）が30日、八百津町八百津の八百津小学校で国際交流授業の講師を務め、6年生54人にリトアニアの歴史や文化を伝えた。授業は第2次大戦の際、「命のビザ」を発行し、約6千人のユダヤ難民を救済した八百津町出身の元駐リトアニア領事代理、杉原千畝氏（1900～86年）がきっかけとなった。（根尾文悟）

昨夏、武義高校の英語教諭鷲見俊幸さん（32）が、内閣府の国際交流事業でリトアニアに派遣され、同小学校5、6年生が毎年上演している杉原氏をたたえる創作劇「メノラの灯（ともしび）」を紹介。そこにシンケビチューテさんも参加していた。留学中に子どもたちにリトアニアのことを知ってもらいたいと授業が実現した。

民族衣装で登場したシンケビチューテさんは、写真を使ってリトアニアの国旗の意味や宗教の違いのほか、日本のアニメが大人気であることなどを紹介。「リトアニアでも杉原千畝は有名で、記念館や名前の付いた通りもある」などと語った。

授業を聞いた花井康希君（11）は「日本のアニメがはやっていたり杉原氏の道があったり、とても日本とつながりが深いことが分かった」と話した。午後には、5、6年生による「メノラの灯」の公演があり、シンケビチューテさんも見学した。

巨大ーちぎり絵のミナモ

関市役所　松渓保育園児ら制作

関市役所アトリウムで、ぎふ清流国体・清流大会公式マスコットキャラクター「ミナモ」の巨大なちぎり絵が飾られ＝写真＝、来庁者を楽しませている。

ちぎり絵は、同市前町の松渓保育園（鈴木専英園長）の親子行事で園児と保護者200人が制作。A3サイズの段ボール紙108枚をパズルのようにつなぎ合わせ、約4㍍四方の巨大なちぎり絵を作り上げた。

市民や来庁者にも園児たちの応援の気持ちが広がるようにと、市役所で展示。メガホンを手に「がんばれ！ぎふこくたい」と呼び掛ける愛らしいミナモの姿を、来庁した親子たちが興味深そうに見入っていた。

ちぎり絵は、ぎふ清流国体・清流大会が終了するまで展示する予定。（佐竹直人）

児童、育てたお米受け取る

関市上白金　金竜小

関市上白金の金竜小学校で30日、児童が今年取り組んだ米作りの発表を行い、自分たちが育てた「ミノニシキ」の精米をJAめぐみの関・金竜から受け取った。

同校では、毎年5年生が学校田を利用し、稲作を体験。今年は児童103人が5月の田植えから10月の刈り取りまで、JAや地元農家の支援で取り組んだ。収穫したミノニシキはJAが精米した。

この日、同校で行われた学年集会の収穫祭には、JAめぐみの岡田忠敏組合長と同JA小金田支店の三輪節夫支店長が訪れて参観。精米630㌔を代表児童3人に手渡した＝写真＝。精米は45㌔ずつ袋詰めされ、全校児童736人に配られる。児童らは「JA作りの大変さが分かった」などとお礼の言葉もらい、おいしそうなお米ができた」「お米を長らにメッセージの寄せ書きをプレゼントした。（田中健太郎）

県内ぐるりお店めぐり

美術陶芸・日本料理　「余白」　多治見市

地元の器使い和食提供

地元作家の作品を販売するだけでなく、作品を使って料理も出したい―。1989（平成元）年、こんな思いで店をオープンしたのが陶磁器修復師の滝上吉生さん（58）。

店名の「余白」は、「絵画でも書でも、主役の題材と同じくらい、空間とか間も大切。良い作品は、お互いさまという関係で成り立っている。店も同じ。お客さまあっての店」と説明する＝写真＝。

人間国宝をはじめ地元の陶芸作家の作品を販売するほか、自分自身は陶磁器の修復を行う。修復師として全国的にも有名なため、来店する顧客の8割が県外。

店内では、上質な器で日本料理や抹茶が味わえる。ランチメニューは2500円の「余白膳」のみ。午後5時以降は5千円から8千円の懐石料理を提供する。（藤田聡）

メモ　▷多治見市虎渓山町7の11の4▷営業時間　午前11時～午後5時（同5時以降は予約のみ）▷定休日　水曜▷電話　0572(25)2005

ひだみの人ひと＋輝い

そば打ちで地域と交流

福祉施設などで手打ちそばを振る舞うボランティアを続ける「そば打ち迷人会」の土屋芳郎代表（64）＝坂祝町酒倉＝。「地域交流の輪が広がれば」と笑顔を見せる。

同会は2年前、町社会福祉協議会の「そば打ち入門講座」の修了生ら10人で発足。会員は16人に増え、昨年から自分たちでソバを栽培するなど活動の幅を広げている。来年春には、東日本大震災の被災地を訪れ、被災者にそばを提供する予定だ。土屋代表は「そばを通じて、支え合い、助け合い、思いやりの気持ちの大切さを伝えたい」と話す。

ラグビー

100㌔の屈強な体格を生かし、県警チームではスクラムの最前線となるポジションを務める。小学生のころから警察官は憧れの職業だったといい、「警察学校でしっかり勉強して、立派な警察官になりたい」と力を込める。

むらづくり事業で表彰

農家から農業経営や農作業を受託する農事組合法人「あびろみ」（中津川市蛭川）の代表理事青木清次さん（59）＝同＝。法人は農林水産祭の「豊かなむらづくり表彰事業」で東海農政局長賞を受賞した。

約500軒の農家が加入する法人は蛭川地域を一つの営農地域と捉え活動。地元小学生の食農教育にも協力している。

生産した野菜の販路拡大や法人運営の後継者育成が課題。青木さんは「農業を学びたいという都市部の若者を募っている。そのまま定住してもらえれば」と期待を込める。

商品券発行

得々商品券は、1千円の商品券5枚と500円分の同会発行「満点カード」1枚の6枚組1セット。通常5500円のところを5千円で販売。加盟全店（68店舗）で31日まで利用できる。問い合わせは同町商工会、電話0577（73）2624。

「焼き芋名人」奉仕17年

出来たての大きな焼き芋を頬張る子どもたちを前に、「毎年食べる日を楽しみに待っていてくれる」と話すのは17年間ボランティア活動を続け「焼き芋名人」と呼ばれる大倉一彦さん（57）＝海津市海津町福江＝。

「もみ殻薫炭器」を使った焼き芋作りの輪を地域ぐるみで広げており、もみ殻から炭を作って2時間余りでおいしく焼き上げる。

今年は市内の7小学校と1保育園を訪問。一度に700個ほど作ることもあり、「これからも元気な限り続けたい」と、歓声を上げる子どもたちの姿に目を細めていた。

建物解体　創業30年　信頼される企業を目指します!!
エクステリア・外構のご提案、施工
敷地美化のお手伝い
カーポート・フェンス設置
防草シート敷工事・ブロック塀塗装など
お見積り無料!!
小さな工事も喜んで!!
お気軽にご相談下さい

オール電化＋太陽光発電で賢く節約!! eco生活!!
家を建てるなら!
これから住宅を建てられる方へ朗報!
当社で新築住宅を建てられた方に
地震保険1年分を当社がプレゼント致します。
震災時、最大500万円が受け取れます。
新築住宅・リフォームのことなら
ホームページを
坂下建築　検索

業者と塗料の選び方が分かるガイドブックを差し上げます
各務原で44年、親子二代塗装職人大野まさしです。塗装の良し悪しは数年たたないと分かりません。「外壁や屋根の塗装がはがれた」などの相談のほとんどが手抜きや間違った塗料を塗ったからです。
この本には、職人歴44年のプロとして信頼できる業者・適切な塗料の選び方などを分かりやすく書いてあります。愛着のある大切な家を長持ちさせるためにぜひ読んでいただき、幸せのリフォームをして欲しいと思い、無料で配布しています。
申込みは無料電話、ホームページまたはメールでご連絡ください。
申込み後の営業も致しませんのでご安心ください。（24時間365日OKです）
各務原市鵜沼川崎町一九〇
(有)大野塗装
お問い合わせフリーダイアル
0120-401-981